

ちちぶ

2018.8.10

第53号

市議会だより



日野田保育所



秩父市イメージキャラクター
ポテくん

5月臨時会・6月定例会

- 議長、副議長の選出
常任委員会等の委員の決定
- 議会改革特別委員会の設置

天気の良い日、お友だちと砂遊び
みんなで力を合わせて
大きなお山をつくれたよ
お山に登って
トンネル掘って
次は何して遊ぶ??

5月臨時会

5月臨時会が5月18日に開かれ、議案7件について審議いたしました。

また、議長・副議長の選挙が行われ、議長に木村隆彦議員、副議長に高野宏議員が選出されました。さらに各議員の議席の決定や常任委員会・議会運営委員会等の委員、その他附属機関等の委員についても選出されました。

◆議長

木村 隆彦



◆副議長

高野 宏



議長就任のあつらひ

市民の皆様には、市議会に對しまして深いご理解とご支援をいただき、心より厚くお礼申し上げます。

私どもは去る4月の選挙後、5月臨時会において、議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、その責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

市議会では、より公平・公正・透明な議会運営はもとより、市民の皆様のご意見、ご要望に応え、市民参加の開かれた議会づくりを図るために、議会基本条例を制定し、二元代表制の一翼を担う市議会として、秩父地域の更なる発展を目指し、全力で取り組んでいきます。

現在、秩父地域は多くの観光客で賑わっています。これも民間企業の皆様のお力のよるものが大きく、今までに経験したことのない賑わいを見せています。今年の10月には、国の重要無形民俗文化財の指定を受けた吉田の龍勢祭が指定後始めて開催されます。さらに多くの観光客で賑わうのではないのでしょうか。

一方で秩父市の人口減少は著しく、4年前の5月1日には6万6455人だったものが今年の5

月1日には6万3203人と大幅に減少しています。これらに対応するためにも、秩父市生涯活躍のまちづくり(秩父版CCRC)を実現しなければなりません。都会で住む人に地方へ移住していただくことにより、地方の活性化を図るのも一つの手段と考えます。

また、秩父地域で行われる事業には市独自で行う事業、広域市町村圏組合で行う事業、それに加えて1市4町で行われる定住自立圏構想事業があります。秩父地域全体の活性化を図る事業を一丸となつて行うことにより国からの特別交付税措置も可能となります。市の財政が厳しい中、効果的に活用していきたいと考えます。

これらの状況を踏まえ、市民一人ひとりが安心して暮らし生活できる秩父市づくりのため、秩父地域4町との連携をさらに深めながら、誠心誠意、議会運営に取り組んでまいります。今後とも、市議会に對し、市民の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



5月臨時会で審議した議案の結果

| 議案の件名 | 議決結果 | 会派ごとの賛否 | | | | |
|--------------------------|------|----------|----------|----------|----------|----------------|
| | | 清流 〇人 | サン 5人 | 共産 3人 | 公明 2人 | 無会派 金野 〇 |
| 市税条例の一部改正 | 承認 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 都市計画税条例の一部改正 | 承認 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 国民健康保険税条例の一部改正 | 承認 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3回) | 承認 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 一般会計補正予算(第1回) | 原案可決 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 市立病院事業会計補正予算(第1回) | 原案可決 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 監査委員の選任(小櫃市郎氏) | 同意 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |

清流：清流クラブ サン：サンライズ秩父 共産：日本共産党秩父市議団
公明：公明党 無会派：会派に属さない議員
※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対

人事案件

任期満了に伴う、秩父市監査委員の選任の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市監査委員

小櫃 市郎 氏

会派別名簿

| | | | | | |
|------------|----------------|---------------|----------------|---------------|-------|
| 清流クラブ | 小櫃 市郎 黒澤 秀之 | 高野 宏 堀口 義正 | 赤岩 秀文 土谷 眞一 | 浅海 忠 江田 徹 | 松澤 一雄 |
| サンライズ秩父 | 新井重一郎 | 富田 俊和 | 笠原 宏平 | 五野上茂次 | 上林 富夫 |
| 日本共産党秩父市議団 | 出浦 章恵 | 山中 進 | 桜井 均 | | |
| 公明党 | 大久保 進 | 本橋 貢 | | | |
| 会派に所属しない議員 | 金崎 昌之 | 清野 和彦 | 木村 隆彦 | (議長は会派に所属しない) | |

議会改革特別委員会の設置

市の実情に応じた効果的な議会機能を発揮していくため、先の市議会議員一般選挙を終えた直後であるこの時期を捉え、改めて議会の組織・運営等に係る調査研究を行うべきであるとの考えにより、5月臨時会において、議会改革特別委員会の設置に関する決議を可決しました。

◎決議内容

1 本議会に議会改革特別委員会を設置し、9人の委員をもって構成する。

2 議会は、特別委員会に対し、次の事項を付託する。

議会の組織、運営等に係る調査研究及び審査。

3 特別委員会は、議会の閉会中も開催できるものとし、議会が本件終了を議決するまで継続して行うものとする。

〈所属議員〉

- 委員長 浅海 忠
- 副委員長 清野 和彦
- 委員 上林 富夫
- 委員 富田 俊和
- 委員 出浦 章恵
- 委員 赤岩 秀文
- 委員 黒澤 秀之
- 委員 大久保 進
- 委員 松澤 一雄

委員会・附属機関等の委員

| 議席番号 | 氏名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
|---------------------|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 議会運営委員会 | 清野 和彦 | | | | | | | ○ | | | | ○ | | □ | | ○ | ◇ | ○ | | □ | ○ | ○ | ◎ |
| 広報広聴委員会 | 金崎 昌之 | ◇ | | | | | ○ | | | ○ | ○ | | ◎ | | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ |
| 市議会だより編集委員会 | 江田 徹 | | ◇ | ○ | | ○ | | | ○ | | | ◎ | | | | ○ | | ○ | | | | | |
| 広域市町村圏組合議会 | 土谷 眞一 | | | | ○ | | | | | ○ | | | ○ | | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ | ○ |
| 空き家等対策協議会 | 上林 富夫 | | | | | ○ | | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | |
| 公有財産審議会 | 富田 俊和 | | | | ○ | | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ |
| 民生委員推薦会 | 出浦 章恵 | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | | | | | | | |
| 第五期障がい者福祉計画策定・推進委員会 | 赤岩 秀文 | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 介護保険運営協議会 | 黒澤 秀之 | | | | | | | | | ○ | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 国民健康保険運営協議会 | 大久保 進 | | | | ○ | | ○ | | | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| 健康づくり推進協議会 | 松澤 一雄 | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| 都市計画審議会 | 小櫃 市郎 | | | ○ | ○ | | ○ | | | | | | ○ | | | | | | | ○ | | | |
| 景観審議会 | 浅海 忠 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | | |
| 秩父4ダムに関わる連絡会 | 黒澤 秀之 | ○ | | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | | | ○ | | | | | ○ | | | |
| 市立病院運営委員会 | 大久保 進 | | | | | | | | | | | ○ | | | | | | | | | | | |

○……委員長

◇……副委員長

□……オブザーバー

6月定例会の議案質疑等の内容

6月定例会（6月6日から26日まで開催）では、市長提出議案9件のほか、議員提出議案2件、請願1件を審議しました。質疑、討論の主な内容は下記のとおりです。

ネイチャーランド浦山条 例の廃止

趣旨 利用者の減少や施設の老朽化等が課題となっていることから、ネイチャーランド浦山を廃止し、普通財産とした後に民間活力を導入し、施設の有効利用を図るもの。
問 利用者の減少について施設の老朽化以外の原因は。

答 夜間営業がないこと、開園期間が限られていることなど、原因が考えられる。
問 今後の当該施設の有効活用としての具体案、計画はあるのか。

答 休園の情報を市ホームページで見た民間企業より連絡があった。今後市からの運営費が出せない等、諸々の事情を踏まえて公募の中で運営企業を募っていききたい。

子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額等を定める条例の一部改正

趣旨 子ども子育て支援法施行令が一部改正されたため、保育料のうち認定こども園の幼稚園部分および新制度へ移行した幼稚園の利用者のうち、市民税所得割額が7万7100円以下の第3階層の上限額を引き下げるもの。
問 当該施行令の一部改正に

伴う、世帯数と利用者負担額の引き下げに伴う総額についてはいくらか。

答 世帯数は把握していないが、対象児童数は公立幼稚園分7人、認定こども園分60人の合計67人である。総額については現在のところ試算していない。

税条例等の一部改正

問 「導入促進基本計画」に基づき行われた一定の設備投資について固定資産税の特例を受けるものだが、ゼロにした根拠は。

答 中小企業の税制面をサポートすることにより、企業の積極的な設備投資を促進することを目的としている。

問 合計所得金額を125万円から135万円に改めるということは、納税者の控除対象が広がったという認識か。
答 障がい者等の市民税非課税範囲判定基準の引き上げとなる。施行期日は33年1月1日。

職員及び特例臨時職員の分限の手續及び効果に関する条例の一部改正

趣旨 埼玉県人事委員会の「職員の失職の特例に関する意見」に基づき、市職員の失職についても、「禁錮の刑に処せられた職員のうち、その刑に係る罪が過失によるもので、かつ、その刑の執行を猶予された者については、情状を考慮して特に必要がある」と認めるときは、その職を失わないものとする「特例を制定するもの」。

問 この条例を適用する例としてどのような事案を想定しているか。

答 刑事処分上の過失による交通事故を想定している。ボランティア活動並びに地域活動中の事故も適用とする。

介護保険条例の一部改正

趣旨 附属機関等の委員の選任に関する指針に基づき、介護保険運営協議会を組織する人数を改正するもの。

問 各代表委員選任人数に「以内」という文言が記載されている。委員の減員を推察させるがその理由は。

答 公募委員の募集現状を踏まえている。また附属機関の運営に必要最小限の人員で構成するため。

指定管理者に指定する団体の変更（吉田龍勢会館、吉田元氣村、吉田山達の里、城峯山ふれあいの森、秩父事件資料館、大瀧郷路館、大瀧特産品販売センター、大瀧温泉遊湯館及びバイシクルモトクロス場）

趣旨 「(株)龍勢の町よしだ」と「(株)源流郷おたき」が「(株)ちちぶ観光機構」との合併に伴い、指定管理者に指定する団体を変更するもの。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

趣旨 学童保育室の放課後児童支援員が、教員免許状の更新を受けていない場合の取り扱いについて明確化するほか、放課後児童支援員の資格要件を拡大するもの。



の様子（本庁舎4階）

常任委員会の報告

総務委員会

担当：市長室・総務部
財務部・市民部
会計課・議会
各行政委員会

◆委員長

大久保 進 (公明党)



◆副委員長

山中 進 (日本共産党秩父市議団)



◆委員

土谷 眞一 (清流クラブ)



◆委員

上林 富夫 (サンライズ秩父)



◆委員

新井重一郎 (サンライズ秩父)



◆委員

高野 宏 (清流クラブ)



◆委員

浅海 忠 (清流クラブ)



総務委員会報告

6月定例会で付託された議案3件および請願1件について報告する。

◆職員及び特例臨時職員の分限の手続及び効果に関する条例の一部改正

問 職員が逸脱した行為で逮捕された場合、懲戒解雇等になることは、他の条例に基づく処分という理解でよいのか。

答 処分には、懲戒と分限があり、懲戒処分は、義務違反等に対して、公務秩序維持の観点から任命権者が職員に道義的責任を課す、いわゆる制裁で、懲罰的な意味あいをもっている。一方分限処分は、職員は、法律や条例で定める事由以外では、免職や休職されないと身分保障をされているが、この法律や条例の定めにより、任命権者が免職や休職、すなわち身分を変動させる処分をいう。今回の条例改正による欠格事項に該当した場合の失職は、身分が変動するため分限処分的一种であり、任命権者の処分によらず一方的に失職となってしまうため、この部分を救済するための改正であり、懲戒処分とは趣旨が異なる。

◆市税条例等の一部改正

問 金額の改正と所得金額が2500万円以下の改正について

市民にどのような影響があるのか。
答 金額の改正は非課税の範囲を拡大することになるので、所得の低い方にとって優位になる改正となっている。所得金額2500万円以上の方は、基礎控除がなくなるということで、このような方は増額になる。

◆都市計画税の条例の一部改正

○以上3件は原案のとおり可決
◆憲法9条改正に反対する意見書の提出を求める請願

意見 自衛隊員の身分保障をきちんと明記する必要があるため、憲法9条を変えていくことも必要であるという認識である。変えないということに反対する。

意見 憲法9条を変えるなどという内容で、軍隊を持たない、兵器を持たない、戦争放棄の平和主義、国民主権、自衛隊が海外での集団的自衛権の行使を認められた憲法に明記されることにより第1項と第2項は空文化する、日本が海外で戦争する国になってしまふ。これは多くの国民が望んでいることではないし、世界の平和を考えてやるべきではない。変えないことに賛成する。
○挙手少数により不採択



常任委員会の報告

まちづくり委員会報告

6月定例会に付託された議案3件について報告する。

◆市道の認定(上宮地町地内)

問 旧秩父セメント第1プラント跡地の利活用及び企業誘致を実現するため、腰田堀西側地区の用途地域変更に伴い新設する路線であるが、今後は、どのような利活用が可能となるのか。

答 工業地域から近隣商業地域へと変更することにより、1万平方メートル超の大型誘客施設、例えば宿泊施設や映画館等の建築が可能となる。

問 今後、土地の利活用や企業誘致に対する期待が高まるが、市民への説明機会は。

答 7月末を目途に、用途地域変更や道路整備、企業誘致に関する説明会の開催を予定している。

◆指定管理者に指定する団体の変更(吉田龍勢会館、吉田元気村、吉田山逢の里、城峯山ふれあいの森、秩父事件資料館、大滝郷路館、大滝特産品販売センター、大滝温泉遊湯館及びバイシクルモトクロス場)

問 指定管理者の合併による、従業員への影響は。

答 従業員数は従前どおりであるが、就業規則等を統一することにより、従業員間での不利益が生じ

ないように調整している。

問 指定管理者が1社になった後においても、地域の特色を活かすことは可能か。

答 合併により社長は1人となるが、龍勢の町よしだ、源流郷おたき、ちちぶ観光機構、それぞれに支配人を配置して決裁権を持たせることにより、地域の声を汲み上げる体制を整えている。

◆ネイチャーランド浦山条例の廃止

問 利用者数の減少、施設の老朽化等の課題を解決するため、普通財産として管理することにより施設の有効利用を図る、とのことだが、普通財産とすることで、どのように有効利用を図るのか。

答 市の所有する建物等の施設について、公募を行い、民間運営のデイキャンプ場として活用したい。

○以上3件は原案のとおり可決。



現地調査の様子(ネイチャーランド浦山)

まちづくり委員会

担当：環境部・産業観光部
地域整備部
農業委員会

◆委員長

黒澤 秀之(清流クラブ)



◆副委員長

出浦 章恵(日本共産党秩父市議団)



◆委員

清野 和彦(無党派)



◆委員

江田 徹(清流クラブ)



◆委員

富田 俊和(サンライズ秩父)



◆委員

本橋 貢(公明党)



◆委員

松澤 一雄(清流クラブ)



常任委員会の報告

文教福祉委員会

担当…福祉部
保健医療部
市立病院
教育委員会

◆委員長

赤岩 秀文 (清流クラブ)



◆副委員長

堀口 義正 (清流クラブ)



◆委員

金崎 昌之 (無会派)



◆委員

桜井 均 (日本共産党秩父市議団)



◆委員

笠原 宏平 (サンライズ秩父)



◆委員

五野上茂次 (サンライズ秩父)



◆委員

小櫃 市郎 (清流クラブ)



文教福祉委員会報告

6月定例会で付託された議案3件について報告する。

◆介護保険条例の一部改正

問 介護保険運営協議会を組織する人数を改正し、今後の委員選任において柔軟に対応したい、との説明があつたが、協議会の委員数が減になった場合、苦情調査や処理ができるのか。

答 15人以上の委員がいれば十分対応可能であると考えている。人数が大幅に減少した場合は公募等を行い調整していく。

◆子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額等を定める条例の一部改正

◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 新たに「5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であつて、市長が適当と認めたもの」を放課後児童支援員の資格要件とする、との説明があつたが、この要件の拡大によって対象となる人数は。

答 新たに対象となる人数は1名である。
○以上3件は原案のとおり可決。

永年勤続表彰

去る4月19日開催の埼玉県市議会議長会および、5月30日開催の全国市議会議長会の各総会において、永年勤続表彰が行われ、当市議会は次の方が表彰されました。

「埼玉県・全国市議会議長会

表彰 15年以上」

小櫃 市郎 議員



「埼玉県・全国市議会議長会

表彰 15年以上」

山中 進 議員



6月定例会で審議した議案、請願の結果

| 議案、請願の件名 | 議決結果 | 会派ごとの賛否 | | | | |
|-------------------------------------|------|----------|----------|----------|----------|-----------------|
| | | 清流 9人 | サン 5人 | 共産 3人 | 公明 2人 | 無会派 清野 金崎 |
| 職員及び特例臨時職員の分限の手続及び効果に関する条例の一部改正 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 市税条例等の一部改正 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 都市計画税条例の一部改正 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 介護保険条例の一部改正 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額等を定める条例の一部改正 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ネイチャーランド浦山条例の廃止 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 議案、請願の件名 | 議決結果 | 会派ごとの賛否 | | | | |
|-------------------------------|------|----------|----------|----------|----------|-----------------|
| | | 清流 9人 | サン 5人 | 共産 3人 | 公明 2人 | 無会派 清野 金崎 |
| 市道 市道の認定 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 指定管理者に指定する団体の変更 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議員提出議案 ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 地域材の利用拡大推進を求める意見書 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請願 憲法9条改定に反対する意見書の提出を求める請願 | 否決 | × | ○ | ○ | × | ○ |

清流：清流クラブ サン：サンライズ秩父 共産：日本共産党秩父市議団
 公明：公明党 無会派：会派に属さない議員
 ※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

| | | |
|---|--|--|
| ① 松澤 一雄（清流クラブ） 1 森林環境税の創設に伴う新森林管理制度 2 下郷笠鉾の公開における障害物の排除等 3 観光対策 | ⑤ 大久保 進（公明党） 1 フレイル予防の現状 2 学校での心肺蘇生法教育の普及推進 3 中小企業の設備投資を促す制度 | ⑨ 上林 富夫（サンライズ秩父） 1 芝桜まつり及び芝桜の丘運営事業 2 上水道事業 |
| ② 浅海 忠（清流クラブ） 1 大滝三峰地域の交通渋滞対策 2 聖地公園の有効活用 3 新電力会社の経営方針 4 公共施設再配置の取組み | ⑥ 本橋 貢（公明党） 1 ユニバーサルシート 2 森林環境税 | ⑩ 金崎 昌之 1 不登校児童生徒への支援 2 道路不具合通報システム導入を 3 市民満足度調査の再開を |
| ③ 富田 俊和（サンライズ秩父） 1 まちづくり | ⑦ 桜井 均（日本共産党秩父市議団） 1 子育て支援（給食費・教材費の無償化） 2 市道の状況 3 妙見七ツ井戸 | ⑪ 清野 和彦 1 森林環境税導入後の市の政策 2 がけ地対策 3 花ノ木プロジェクト 4 妙見七ツ井戸 |
| ④ 出浦 章恵（日本共産党秩父市議団） 1 高齢者の足の確保 2 オレンジカフェの充実 3 花ノ木プロジェクトの現況 | ⑧ 黒澤 秀之（清流クラブ） 1 人口減少に対する福祉行政のあり方 2 現教育行政における倉澤教育長の所信 3 コミュニティ・スクールの導入経緯 4 学校運営協議会と地域学校協働活動 | ⑫ 山中 進（日本共産党秩父市議団） 1 市職員障がい者雇用 2 最低賃金 3 歴史文化伝承館の利用 4 農業集落排水事業 |

※市議会ホームページのインターネット録画中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。



「埼玉県・全国市議会議長会」
 表彰 15年以上以上
 落合 芳樹 前議員



「埼玉県・全国市議会議長会」
 表彰 15年以上以上
 金崎 昌之 議員

一般質問

森林環境税の創設に伴う 新森林管理制度



清流クラブ まつざわ 松澤 一雄 かずお

問 36年度から賦課される森林環境税の総額は。

答 30年度の個人市民税均等割の納税者数が3万580人であり、36年度からの課税額は3千万円程度と推計される。

問 譲与税の当市への配分額は。

答 配分額は私有林人工林割50%、林業就業者数が20%、人口割が30%で算定され、31年度から33年度までは2570万円ずつ、それ以降、徐々に増加し45年度からは8670万円程度になる。

問 31年度から施行される森林経営管理法は森林管理の責務を森林所有者、市町村に明確に規定しているが、それに基づく管理計画は。

答 市の私有林人工面積は1万706ヘクタールであり、まずこの制度を市民に周知していく。そのうえで所有者から森林管理の委託があった場合は境界確認を行い、県が登録・公表する林業経営者に再委託、あるいは市が直営で管理する。31年度は120ヘクタールの委託を見込んでいる。

問 林業事業者等の対策は。

答 現状の林業就業者では不十分であり、森林組合等の事業体は国

県が育成し、市では林政アドバイザーも活用し、過疎対策にもなる自伐型林業を実践できる人材を育成する。

●重要有形民俗文化財公開 における障害物の排除等

問 下郷笠鉾の花笠を付けた本来の形での巡行に支障する横断線の排除、支障電柱の移設の考えは。

答 支障物撤去の方法や周辺住民の影響等を考慮し、早期に着手できるような検討していく。



整備された森林



花笠をつけた笠鉾

◎重要有形無形民俗文化財の保存管理

大滝三峰地域の渋滞対策



清流クラブ あさひむら 浅海 忠 ただし

問 毎月1日に頒布される「白い氣守」参拝者の渋滞状況は。

答 29年7月1日(土)には渋滞長が約18kmで概ね大輪地区の表参道入口付近が最後尾になり、初めて国道140号本線に影響が発生した。10月1日(日)に約16km(神庭交流広場の対岸付近)、30年4月1日(日)には過去最大の約25km(荒川日野「道の駅あらかわ」入口付近)となった。

問 大滝地域の住民の安全対策は。

答 特に影響の大きい三峰地区には緊急車両の通路確保として、森林管理道大血川線を1日前後の3日間はゲートの施錠を行い関係車両のみの通行とし、一般車両通行止めにし、緊急路の確保を行った。森林管理道大血川線は12月中旬から5月連休明けまでの冬期間は通行止めだったが大滝総合支所職員が除雪やスリップ防止の砂の散布作業を実施して通路を確保した。二瀬信号機は秩父警察署の協力で信号制御を警察官の手動で行った。

問 観光立市秩父市として三峰地域の位置付けは。

答 三峯神社の周辺一帯は神社だけでなく新緑や紅葉の山並みの景

色、雲海、星空や山歩きの拠点として観光資源が集まり秩父の重要な地域と認識している。

問 対策会議の内容とその結果は。

答 29年8月8日に第1回目の渋滞対策会議を国・県の関係機関や警察署・消防署及び神社・公共交通事業者と市の関係部署がメンバーとなり開催した。7つの分科会を設置し全体会議で報告・検討した。30年4月19日まで5回開催。結果、各種の早急な対応は問題が山積されているができうる対策から進める。



二瀬ダム付近の渋滞状況 (H29.6.1)

一般質問

まちづくり

問 市の未来を考え、都市計画道路の整備は、住環境整備や防災対策などの面からも重要であると考える。特に永田通線と桜木通線の整備は市街地の求心力を高めるためにも早期に整備すべきと考えるが、市の考えは。

答 都市計画道路の整備はまちづくりの重要事項であり、特にこの2路線については完成すると交通の分散による市街地の渋滞対策としてのメリットや、防災・減災・そして住環境の整備に大きく寄与すると考えられる。しかし、整備には、土地の提供や家屋移転など、住民の協力が不可欠である。そのため30年度から策定する「都市計画マスタープラン」や「立地適正化計画」の中で十分検証し、住民の理解を得たうえで、周辺工事の進捗を見ながら検討する。

問 将来、地方交付税が減額されることも考え、道路整備を控えるのではなく、逆転の発想で行なわなければならない道路整備を、市のために整備した方が良いと考えるが。

答 人口減少が進む中、公共工事を拡大するという逆転の発想によ



サンライズ秩父 富田 俊和
とみた としかず

り、魅力的な街づくりを行うことで市を発展させるといった考え方もあるが、身の丈に合った財政規模への縮小も迫られている。ファッションイマージメントの観点からその重要性和必要性、優先度、費用対効果等を考慮しながら適切に実施していく。



永田通線（市立病院前）

花ノ木プロジェクトの現況



日本共産党秩父市議団 出浦 章恵
とみた あきえ

問 市内どこにでも移住者を対象として軽自動車購入に30万円の補助をし、60・70・80代の人に運転をしてもらおうというが、特に80代は予防安全性機能評価の高いもの、いわゆる自動ブレーキ搭載車購入の場合か、そうでないものでも対象とするのか。決して過信をする訳ではないが、近年高齢者が運転する必要があるのなら、自動ブレーキ搭載車がより安全であろうという考え方があろう。運転する本人のみならず、市民、両者の安全対策をどう考えているのか。

答 「マイカー補助金」は、年代を問わずに市内全域への移住を促進する「総合事業」の一環として設けた制度で想定している。イメージは助成金の存在が背中を押す形で、若者や子育て世代に移住、就職してもらおうもの。現段階では交付対象者の年齢制限は設けていない。指摘の通り、免許返納制度との整合性、昨今の高齢運転者の諸課題を考慮し、セーフコミュニティの認証自治体であることも鑑みて、現在、助成金の交付対象者の年齢上限要件を設ける方向で検討中。

問 近隣住民の心配を何とかしてもらわないと困るという場合は、丁寧な対応をして欲しいし、住民の理解を得ることで進めていくことが大事であることは言うまでもない。しかし、これまでの答弁でタイトなスケジュールだと言っている。配置図については、市民の意見を聞き変更する余地はあるという答弁と矛盾があるがどうか。

答 タイトな条件ではあるが、市民の要望についてはできる限り対応をして行く。



花ノ木プロジェクト用地

一般質問

フレイル予防の現状



公明党 大久保 進
おおくぼ すすむ

問 フレイル予防活動の現状は。

答 市のフレイル予防の取組みとしては、「茶トレ」の普及・推進および秩父医療協議会において、秩父地域の食生活のデータ収集、分析等に取り組んでいる。また、秩父ポテくまくん健康体操や地域サロン活動の立ち上げ支援等を実施し、高齢者の健康づくりおよび社会参加を図っている。実績としては「茶トレ」は29年度では、235回5494人が参加した。また、秩父ポテくまくん健康体操の実施地区は、30年5月末現在、11地区で、秩父ポテくまくん健康体操サポーターが中心となって週1回体操を継続実施している。

●学校での心肺蘇生法教育の現状

問 各学校でのAEDを使用した心肺蘇生法講習会の実施の現状は。

答 AEDを使用した学校での心肺蘇生法講習会は、教職員を対象としてすべての小中学校において年1回実施している。保護者の方には、保護者の方を対象とした講習会を実施している。児童生徒向け



設置されているAED（市役所入口）

の講習会を実施しているのは小学校1校、中学校では6校行っている。今後も各学校での講習会の実施を推進していく。

●中小企業の設備投資を促す制度の徹底を

問 中小企業の設備投資に対して市としての支援策は。

答 市の具体的な支援策としては税制特例のほかに、今後策定する「秩父市先端設備導入促進計画」の中で製造業やサービス業など、可能な限り多くの事業者が対象となるよう配慮したいと考える。

ユニバーサルシート



公明党 本橋 貢
もとほし みつき

問 ユニバーサルシートの設置状況は。

答 現在市内においては、市役所本庁舎1階、市民会館1階、秩父駅前観光トイレ、御花畑駅観光トイレ、荒川上田野地内観光トイレ、三峰駐車場観光トイレに設置されている。市役所及び市民会館以外のトイレは、24時間利用可能である。

問 ユニバーサルシートのわかりやすい案内と紹介は。

答 ユニバーサルシート、多機能トイレの情報を市報に掲載した記録はない。観光課の発行する観光パンフレットには秩父の地図を掲載している。この地図に凡例を示して障がい者用のトイレの位置を掲載することは可能。観光課と連携して増刷の機会を捉えて実施する。市のホームページでも秩父市バリアフリーマップの改正版を29年2月より公開している。このバリアフリーマップは、オストメイト対応、ベビーベットなどの情報を掲載している。今後も定期的に更新し、情報提供に努める。

問 ユニバーサルシートやオストメイト用設備の多機能トイレの設置計画は。

答 多機能トイレの設置計画は、スペース的な問題もあるため直ちに設置することは困難である。今後は、各施設の改修に合わせ設置していく。市としても多機能トイレ及びユニバーサルシートについて周知利用者の要望に応えられるように取組みを進める。



ユニバーサルシート

◎森林環境税

一般質問

市民の生活と安全を

日本共産党秩父市議員

桜井 均



に努めている。

●子育て支援策

問 厚生労働省の統計による発表では7人に1人が「子どもの貧困」状態にあるとされており、学校でいえば1クラスに5人の子どもが該当することになる。子どもの健全な発達を支える学校給食を無償化にすることで平等にすべての子どもたちに提供できると考えるが市の考えはどうか。

答 現在、近隣自治体では給食費の無償化を実施していることは承知している。市において給食費無償化に必要な予算は概算で2億3650万円。設備更新等も必要なことから難しいと考えている。

●市道状況

問 溝ができていたりところ、法面が崩落しているところが見受けられるが修繕や整備について市の対応はどのようになっているのか。

答 補修、修繕については現地を確認し緊急性、危険性があるものについては、安全を第一に考え、その時点で緊急対応をとっている。また、確認や調査した結果、予算が多めにかかる現場については新年度予算に計上して対応するよう

●妙見七ツ井戸

問 今後も経過観察や調査は行うのか。また、調査報告を行う予定はあるのか。

答 降雨後に湧水は復活し、現在まで枯れることなく経過していることは確認をしている。今後も、引き続き経過観察を行っていく。また、地域住民を集めての経過説明を行うことは現在考えていない。



二中学校区内通学路

人口減少に対する福祉行政のあり方

清流クラブ

黒澤 秀之



10年後の人口推計からは、実

問 質生産年齢人口の減少が著しい。地域全体で支える地域共生社会の実現が不可欠であるが体制作りは、地域共生社会の考え方は、これまででもベースとしており、地域住民や町会役員、民生児童委員、在宅福祉員と連携して実践する。

問 育児、介護、障がい、貧困など、同時に2つ以上の問題・課題の解決に向け『福祉まるごと相談窓口』の設置を検討してはどうか。

答 現時点では関係部署が連携していく方法が効率的と考える。

問 法改正で「共生型サービス」が創設されたがどのようなものか。

答 介護・障がい福祉の両事業所による柔軟な運営が可能となる。

●教育行政

問 現状の教育行政、地域社会の状況を踏まえた教育長の所信は。

答 教育大綱の基本理念による各学校の支援。更なる学力の向上。伝統文化の継承。教員の働き方改革を積極的に推進していく。

問 コミュニティ・スクール（地域とともにある学校）の導入経緯は。

◎校務支援システム

| | 平成30年 | 平成40年 | 増減 | 増減率 |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|
| ①大学生までの人口合計(0～22歳) | 12,036 | 9,230 | -2,806 | -23.3% |
| 就学前(0～5歳) | 2,581 | 1,911 | -670 | -26.0% |
| 小学生(6～12歳) | 3,018 | 2,272 | -746 | -24.7% |
| 中学生(13～15歳) | 1,701 | 1,338 | -363 | -21.3% |
| 高校生(16～18歳) | 1,798 | 1,402 | -396 | -22.0% |
| 大学生等(19～22歳) | 2,938 | 2,307 | -631 | -21.5% |
| ②実質生産年齢の人口合計(23～64歳) | 31,062 | 25,397 | -5,665 | -18.2% |
| (23～59歳) | 26,418 | 21,359 | -5,059 | -19.1% |
| (60～64歳) | 4,644 | 4,038 | -606 | -13.0% |
| ③高齢者の人口合計(65歳以上) | 20,267 | 19,922 | -345 | -1.7% |
| 前期高齢者(65～74歳) | 9,507 | 8,250 | -1,257 | -13.2% |
| 後期高齢者(75歳以上) | 10,760 | 11,672 | +912 | +8.5% |
| 秩父市の人口合計 | 63,365 | 54,549 | -8,816 | -13.9% |

世代別で見る10年後の秩父市人口(最新推計)

答 人口減少、少子高齢化の進展に伴い、地域と学校が連携・協働し地域の将来を担う人材を育成していく観点で「学校を核とした地域作り」が求められており、30年度より全小中学校に展開していく。

問 重要となる学校運営協議会と地域学校協働活動との関係性は。

答 地域と協力し伝統文化の継承、環境整備、見守り活動等を実施しているが、学校運営協議会の委員の工夫、各活動をコーディネートする組織が機能することが重要。

一般質問

芝桜まつり および水道事業



サンライズ秩父 上林 富夫
かみばやし とみまる

●芝桜まつり関係

問 30年の芝桜まつりにおける来場者数、売上収入および経済効果等はどのくらいか。

答 期間中の来場者数37万4千人、入園料4200万円、駐車料1400万円、協力金250万円合計金額約5900万円である。「秩父路の特産市」35店舗の売上額は7041万円でこのことから1割をちちぶ観光機構に納めることになっている。30年から都市公園条例の改正により期間中の占用料として7万7千円をちちぶ観光機構から徴収。芝桜期間中の経済効果は来場者数からみると11億3千万円の効果があつたものと考えている。お客様から苦情が多かつた協力金1000円については来期に向け検証する。

●上水道事業

問 水道事業は広域化されたが一般会計から繰り出される事業費等はどのくらいか。3年後に統一予定の水道料金は上がるのか。今後、事業変更などはあるか。

答 30年度の事業予算は出資債5億5380万円、一般財源4億



観光客で賑わう芝桜の丘

1771万円、その他752万円として計上し、一部を除き市の事業分として使われる。3年後統一予定の水道料金については、30年度審議会を立ち上げ検討していく。料金算出においては人件費や維持管理費等を見直し、広域化のスケールメリットを最大限生かし、できる限り改定幅の抑制に努力する。今後の事業は国の予算編成等により見直しを検討する。

不登校児童生徒への支援



かなざき まさゆき
金崎 昌之

問 様々な要因によって、どうしても学校へと足を向けられない子どもたちがいる。その支援の場として、同じ悩みを持つ子どもや保護者がお互いに集い、交流し、学び合える場がある。市として、こうした取り組みを行っている団体への協力や支援、連携が必要では

答 今後、不登校の児童生徒、保護者を支援する民間団体などの情報収集、情報提供に努める。

●道路不具合通報システム導入を

問 市民からいただく意見・要望の中でも、道路行政に関わるものの割合はかなり大きい。これらの要望に速やかに対応できるように各地で導入が進むスマートフォンによる通報システムを導入しては

答 市では電話や窓口対応が浸透している。また、導入で年間220万円の管理費がかかることと、そのお金を道路整備に回したほうが良いと考える。

●市民満足度調査の再開を

問 7回にわたる調査の実施は、行政に対する市民の率直な声が直



仙台市の道路不具合通報システム

接反映された大変貴重な資料となり、久喜市政の最も大きな実績の1つだと考える。しかし、29年度の突然の調査中止は、「市民とともに」とうたう市長のマニフェストに照らしても違和感があるし、大変残念。なぜ中止したのか。

答 数字が独り歩きし、各分野で必死に努力している現状が伝わらず、関係者のモチベーションの低下を招いた。また、市の調査、アンケートが最近多いという声もある。さらに、問いたいことが市民に十分に理解されていたのが不明な部分もあり、一旦休止とした。

一般質問

森林環境税導入後の政策



きよの
清野 和彦

問 林業経営に適さない荒廃した森林を森林経営計画でまとめ、荒川流域の市区町に交付された森林環境譲与税の一部を市に寄付していただき、それを財源として水源の森づくりを行うことはできないか。

答 国の通知によれば「姉妹都市における森林整備など、他市町村に所在する森林の整備に充てることは可能」とある。今後、国がより詳細なガイドラインを出す予定のため研究していきたい。

● 妙見七ツ井戸

問 29年12月に枯れてしまった宮地内にある妙見七ツ井戸の「四の井戸」についてどのように経過を観察してきたのか。

答 2月28日から3月1日にかけ32ミリの降水があり、29年12月以来約3か月ぶりに井戸に水が溜まっているのを確認した。その後、5日に3ミリの降水があったものの1週間ほど著しい降雨がなく、水も少なくなったが、8日から9日にかけて61・5ミリの降雨があり、この日から現在まで、枯れることなく経過している。



荒川流域の連携を活かして水源の森づくり・木材流通の促進を

- ◎荒川中・下流域の市区町や姉妹都市等での荒川流域材の活用推進、木育・ウッドスタートの推進、ちびキッズパークを始めとする親子が訪れる公共施設の木質化
- ◎中山間地域等での個人が行うがけ地対策工事への補助
- ◎秩父版CCRC構想モデル事業「花ノ木プロジェクト」の経過と周辺道路環境の整備
- ◎水循環基本法に基づく環境省「地下水保全」ガイドラインの活用

障がい者支援と市民にやさしい街づくり



やまなか
日本共産党秩父市議団 山中 進

問 29年4月に改正された「障害者雇用促進法」の施行により、事業主に対して身体障がい者、知的障がい者および精神障がい者の雇用義務がうたわれた。多くの雇用機会が提供され、障がいがある方の社会進出がさらに進むのではないか、市の対応は。

答 市職員の障がい者枠での受験資格は、これまで身体障がい者の方を対象とし、それ以外の障がい者の方は一般の受験資格にて受験していた。30年度からは知的障がい者・精神障がい者の方も障がい者枠で受験できるように応募要領を改定する。

● 最低賃金

問 外郭団体への最低賃金はどのように周知しているのか。市から委託料の出ている外郭団体の臨時・パートタイマー職員の最低賃金は保証されているのか。

答 最低賃金は市報やホームページ、チラシ等により周知している。委託料は業務に関してのもので、人件費は外郭団体で負担するものである。最低賃金を下回ることはないように周知徹底していく。



伝承館前駐車場

問 歴史的文化伝承館の利用
市民会館の開館から1年も経たずに、駐車場がないため、歴史文化伝承館での活動を阻害する事態が発生している。伝承館利用者のためにも市は駐車場を確保し市民の活動を確保すべきでは。

答 市民会館や伝承館の催し物が重なる、駐車台数が駐車可能台数を上回るため、他の駐車場を利用できるか関係機関と協議していく。

意見書

6月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書2件が提出され、審査の結果、2件が原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

ヘルプマークのさらなる普及推進を求める意見書

1 「心のバリアフリー推進事業」など、自治体が行うヘルプマークおよびヘルプカードの普及や理解促進の取組みに対しての財政的な支援を今後も充実させること。

2 関係省庁のホームページや公共広告の活用など、国民へのさらなる情報提供や普及、理解促進を図ること。

3 鉄道事業者など自治体を越境している公共交通機関では、ヘルプマーク導入の連携が難しい状況にあるため、今後はスムーズな導入が図れるよう国としての指針を示すこと。

地域材の利用拡大推進を求める意見書

1 公共建築物の整備に関する関

係省庁の補助事業において、木材利用を行う施設に係る補助率のかさ上げ、基準単価の見直し、優先採択等の取組みを推進すること。

2 中高層、中大規模の木造公共建築物が都市部を含めて普及されるよう、CLT（直交集成板）や木質耐火部材等の新たな木質部材に関する技術開発や人材育成に対する支援の拡充を図ること。

3 病院や介護施設、保育園、学校等を経営する民間事業者が、施設整備にあたって木材を積極的に利用できるようになることが重要であり、このため、木材が持つ調湿機能やリラックス効果、衝撃吸収性などの特性を普及するとともに、それぞれの施設における効果的で望ましい木材利用のあり方について経営者、設計者、デザイナー、施行者等が参画して検討・検証を行う取組みを進めること。

4 木材製品を安定的・効率的に供給するために、木材加工流通施設を整備するとともに、木材利用を拡大するために、発電利用や熱利用で活用できる木質バイオマス利用促進施設を整備し、木材産業の競争力強化を図ること。

インターネットで議会録画中継を見る！

市議会では、本会議の様子をインターネットで録画中継にて配信しています。

パソコンのほか、スマートフォンやタブレットを使って自宅などで、いつでも好きなときに見ることができます。

※録画中継は、各日の会議終了の概ね7日後から公開しています。

9月定例会の予定

| 日 程 | 議 事 |
|----------------------------|-------------|
| 9月4日(火) | 開会、議案説明 |
| 7日(金) | 議案に対する質疑 |
| 10日(月) | まちづくり委員会 |
| 11日(火) | 文教福祉委員会 |
| 12日(水) | 総務委員会 |
| 14日(金) 18日(火) 19日(水) | 一般質問 |
| 26日(水) | 委員長報告、採決、閉会 |

※各日、午前10時開会予定です。

※議場は、本庁舎の4階です。

※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

編集後記

4月の秩父市議会議員一般選挙を経て、5月1日より市議会議員の任期が始まりました。

改選に伴い市議会だより編集委員会のメンバーも大幅に変わりました。メンバーは変わりましたが、市議会だよりは市民の皆様へ議会活動を伝える重要なツールとして、市議会だよりの編集は変わることなく丁寧に行って参ります。市民の皆様が手に取って読んでいただけるよう今期も細部にこだわった編集を心掛けて参ります。

まだまだ暑い日が続きますが体調にご留意いただき健やかに過ごしてください。

平成30年7月 赤岩 秀文 記

編集委員

- 委員長 赤岩 秀文
- 副委員長 金崎 昌之
- 委員 江田 昌徹
- 上林 富夫
- 桜井 重均
- 新井 重一郎
- 本橋 貢